

分 類：医療・社会・行動科学 III
授業科目名：社会医学実習（Public Health Practices）
対象学年：3 年次 必修
時間割コード：71583008
開設学期等：第 15 週～第 19 週
単 位 数：1

1. 主任教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

2. 担当教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）
鄭 松 伊（助教、衛生学・公衆衛生学講座、6088）
山崎貞一郎（助教、衛生学・公衆衛生学講座、3260）
岩倉 正浩（助教、衛生学・公衆衛生学講座、7032）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

臨床現場で必要となる各疾患の病態を習得して診療を実践していくために、社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。
地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。
限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。
また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM 等について学ぶ。（2-1～8）

【授業の概要】

保健、医療、福祉に関わる諸施設を訪問し、医学・医療と社会の関わりを体験的に理解する。

到達目標（SBOs）

- 1）保健・医療・福祉にかかわる社会的資源を説明できる
- 2）保健所の機能と役割を説明できる
- 3）母子保健，老人保健，精神保健に関わる社会的資源を説明できる
- 4）環境保健に関わる社会的資源を説明できる
- 5）産業保健に関わる社会的資源を説明できる
- 6）高齢者福祉サービスの現状を概説できる
- 7）社会福祉に関わる資源を概説できる
- 8）関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明できる。

4. 教科書・参考書

NEW 予防医学・公衆衛生学（南江堂、改訂版第 4 版 2018 年）
国民衛生の動向（厚生統計協会、2024/2025）
シンプル衛生公衆衛生学（南江堂、2023 年度版）
公衆衛生がみえる（MEDIC MEDIA、2024-2025）

5. 成績評価の方法

態度、レポート、出席、その他（発表）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

8月22（金）に実習の説明を行います。

なお、実習担当の違いにより日々の終了時間が異なることがあります。

※本科目は「秋田大学COCキャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	8月22日 (金)	1-10 時限	講義	テーマ：オリエンテーション 実習で学ぶべき事柄や参加する際の心構えなどを説明し、具体的な実習先について紹介する。班分け等を行い、最終日に行われる成果発表会について説明する。	野村 恭子 鄭 松伊 山崎貞一郎 岩倉 正浩	医学系研究棟4階6講義室
2	9月16日 (火)	1-10 時限	実習	テーマ：実習 地域医療に積極的に参加・貢献する。文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。	野村 恭子 鄭 松伊 山崎貞一郎 岩倉 正浩	医学系研究棟4階6講義室もしくは学外実習施設
3	9月17日 (水)	1-10 時限	実習	テーマ：実習 地域医療に積極的に参加・貢献する。文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。	野村 恭子 鄭 松伊 山崎貞一郎 岩倉 正浩	医学系研究棟4階6講義室もしくは学外実習施設
4	9月18日 (木)	1-10 時限	実習	テーマ：実習 地域医療に積極的に参加・貢献する。文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。	野村 恭子 鄭 松伊 山崎貞一郎 岩倉 正浩	医学系研究棟4階6講義室もしくは学外実習施設
5	9月19日 (金)	1-10 時限	全体討議	テーマ：成果発表会 実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。	野村 恭子 鄭 松伊 山崎貞一郎 岩倉 正浩	医学系研究棟4階6講義室